



動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番
(公) 043(222)7207番
FAX 043(224)7197番

2000.10.24 No. 5213

11・3 団結運動会

11.5 労働者集会へ

11・3 団結運動会へ11・5 労働者集会への連続行動を成功させよう。組合員・家族の総結集を訴えます。

4党合意打ち砕け

今年の11・5集会は、特別に重要な位置をもつ闘いとなった。11・5集会の第一の課題は、「4党合意」を打ち砕き、一〇四七名闘争の勝利の展望を示す力をここでつくりあげることだ。10月28・29日には国労全国大会が開催される。今、国労闘争団は、本部の制動に抗して、闘う方針の確立をめざすアピールを発し、「4党合意を撤回し、解雇撤回・地元JR復帰まで闘いぬく団結署名」を展開し、大会に臨もうとしている。

国労大会がどのような方針を決定するか予断を許さない状況だが、その直後に開かれる11・5集会は、今後の国鉄闘争の方向性を左右する決定的な闘いとなり、大きな注目を集めている。永年にわたって国鉄闘争を支援してくれた多くの労働組合が、「4党合意反対」の立場を明らかにし、11・5集会に賛同を寄せてくれている。11月5日を国鉄闘争の新たな出発の日としよう。

外注化阻止に向けた闘争突入宣言を

第二の課題は、全面的な外注化攻撃や「シニア制度」による高齢者の差別・首切り攻撃に対する闘いへの突入を宣言することだ。われわれは第29回定期大会で、「シニア制度」の外注化攻撃に反対し、ストライキを含む組織をあげた闘いを展開する方針を決定した。検修・構内、設備関係

動労千葉団結運動会

▼11月3日(金)9時

▼千葉公園グラウンド

(駐車場あります)

の外注化攻撃を許すな！これは第二の分割・民営化と言うべき攻撃だ。JR総連・革マルを手先にして労働者の権利を打ち砕こうというのだ。直ちに職場からの闘いを開始しよう。われわれは、11・5集会でその闘争宣言を発する。JRの結託体制を揺るがす闘いを実現し、業務の全面的な外注化を阻止しよう。定年延長を實現し、65歳まで働きつづけることのできる労働条件を確立しよう。

大リストラ許すな

第三の課題は、11・5集会を大資本攻勢に反撃する闘う労働組合の全国ネットワークをつくりあげる取り組みの飛躍の場とすることだ。千代田生命につづき、協栄生命が破たんした。戦後最大の倒産だ。ゼネコンを始め、本格的な大倒産時代が始まるうとしている。株価も大暴落を始めた。支配体制はガタガタだ。だが彼らは、その矛盾の一切を労働者へのリストラ・首切り賃下げ攻撃に転嫁し、闘う労働運動を潰すことのできるうとしている。だが連合傘下の労働組合のなかからも反乱が始まっている。もはや我慢も限界だ。われわれは、反撃への本格的なよろしをあげる決意だ。

憲法改悪が狙上に

第四の課題は、大政治反動に反撃

することだ。ついに憲法改悪が具体的な狙上へのぼろうとしている。国会では「憲法調査会」が開催され、議論は憲法九条の改悪に及んでいる。また、憲法と一対の関係をなしてきた教育基本法の改悪が、次期通常国会で画策されている。国家主義教育を復活させ、教育労働運動を潰し、憲法改悪への地ならしをすることが目的である。憲法改悪をめぐる政治決戦が始まるうとしている。われわれは、この野望を打ち砕く大闘争を準備しなければならない。

今が飛躍のとき！

11・5集会には、これまでになかった多くの労働組合からの賛同が続々と寄せられている。とくにこの間の4党合意をめぐる攻防戦の渦中で、「このままでは大変なことになる」との危機感が生まれ、多くの心ある仲間たちをゆり動かしている。ネットワーク運動も、大きな飛躍への入り口にたつたのだ。21世紀に通用する新世代の動労千葉をつくりあげるためにも、われわれはその先頭にたつて闘いぬかなければならない。全支部で全力の結集体制をつくらう。他労組の仲間にも呼びかけて、闘う労働運動をつくりあげよう。11・3団結運動会へ11・5労働者集会の連続行動に集まろう！

11・5 労働者集会

▼11月5日(日)正午

▼日比谷野外音楽堂

《指定列車》

千葉8番10時46分